



# 記入例(法人等の場合)

XX年 6月 1日

## 財 産 目 録

### 1 住所・氏名等

住所所在地	津市西丸之内X-X-X	氏名称	収税電気株式会社
-------	-------------	-----	----------

### 2 財産の状況

#### (1) 預貯金等の状況

満期日が1週間以上先の定期預金は(3)その他の財産の状況に記載するため、(1)預貯金等の状況には記入しません。

金融機関等の名称	預貯金等の種類	預貯金等の額	金融機関等の名称	預貯金等の種類	預貯金等の額
手持ち現金	現金	600,000 円	B信用金庫△△支店	当座	20,000 円
A銀行〇〇支店	普通	450,000 円			円
A銀行〇〇支店	当座	60,000 円			円

#### (2) 売掛金・貸付金

売掛金や貸付金等今後収入になるものについて記入します。「種類」には売掛金、貸付金、未収金等の種類を、「回収方法」には現金、振込、手形、小切手等の方法を記入します。

売掛先等の名称	住所	種類	回収予定日	回収方法	売掛金等の額
A機器株式会社	〇〇市△△町X-X-X	売掛金	XX・7・10	振込	1,800,000 円
株式会社B電子工業	〇〇市△△町X-X-X	貸付金	XX・7・16	振込	500,000 円
C精密工業株式会社	〇〇市△△町X-X-X	売掛金	XX・7・25	小切手	1,500,000 円
Dエレクトロニクス株式会社	〇〇市△△町X-X-X	貸付金	XX・7・20	手形	200,000 円

#### (3) その他の財産の状況

借入のために抵当権を設定しているもの等、担保として提供している財産にチェックを入れます。

財産の種類	内容	担保等	直ちに納付に充てられる金額
国債・株式等	株式会社〇〇〇 上場株式200株		200,000 円
不動産等	工場の土地建物(〇〇県△△市XX町X-X-X)		0 円
車	事業用車両3台 (三重330あXXX、三重330あ□□□□、三重330あ△△△△)		0 円
その他財産 (敷金、保証金、保険等)	A銀行〇〇支店(定期預金400,000円、満期日X□年10月31日) 営業所敷金(1,000,000円)、〇〇生命保険		0 円
		合計(B)	200,000 円

#### (4) 借入金・買掛金の状況

満期日が1週間以上先の定期預金は「その他財産」に記入します。

借入先等の名称	借入金等の金額	月額返済額	返済終了(支払)年月	追加借入の可否	担保提供財産等
A銀行〇〇支店	15,000,000 円	350,000 円	X△ 年 3 月	可・ <input checked="" type="radio"/> 否	工場土地家屋、定期預金
B信用金庫△△支店	1,800,000 円	150,000 円	△△ 年 5 月	可・ <input checked="" type="radio"/> 否	

借入のために抵当権を設定しているもの等、担保として提供している財産を記入します。

### 3 当面の必要資金額

項目	金額	内 容					
支出見込	1,800,000 円	仕入	770,000 円	従業員給与	240,000 円	役員報酬	200,000 円
		家賃等	0 円	諸経費	90,000 円	借入返済	500,000 円
		住居費(家賃・住宅ローン・駐車場代)	円	食費	円	被服費	円
		費・新聞料(料金含)	円			保険掛金	円
生活費(個人の場合)		生計を一にする家族の人数(申請者本人を含む)	人	その他ローン(事業用を含む)	円	家族等の収入・家族等からの借入等(マイナスで記入)	円
収入見込 (分割納付1回目に用いる収入以外)	500,000 円	※第1回目の分割納付を開始するまでに、分割納付の原資となる収入以外の収入がある場合のみ記入します。 株式会社B電子工業(〇〇市△△町X-X-X)から貸付金の回収(500,000円)あり。 本収入を除いては、分割納付の第1回の原資を予定している収入のみ。					
(支出見込) - (収入見込) (C)	1,300,000 円	マイナスになった場合は0円					

※(C)は、以下4②「当面の必要資金額」欄へ転記

申請者が法人等で事業を行っている場合は「事業支出(法人等の場合)」にチェックを入れます。

それぞれの金額を記入します。

マイナスになる場合は「0円」と記入します。

### 4 現在納付可能資金額

①当座資金額(A)+(B)	②当面の必要資金額(上記(C)から転記)	③現在納付可能資金額(①-②)(D)
1,330,000 円	1,300,000 円	30,000 円